

災害に備える

地震

- 家具の下敷きや、出入り口の封鎖などを防ぐため、家具の固定や配置を見直す。
- 玄関などの出入り口付近に、避難時の妨げになるものは置かない。

台風など

- 雨戸を閉める、窓にテープを貼るなど、飛来物による破損から身を守る工夫をする。
- 風で飛んでしまいそうなものを事前に家の中に運ぶ。

避難時に持っていくもの(一例)

避難は災害から命を守る行動になります。自分や家族の命を守るために必要最低限のものを準備しておきましょう。非常用持出袋の中身は、子どもがいる家庭や、高齢者がいる家庭によって異なります。各家庭に合った備えをしましょう。

■非常用持出品

水、食品、衣類(下着)、懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池、携帯充電器、歯ブラシ、歯磨き粉、タオル、マスク、屋内用シューズ、貴重品(通帳、現金、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカードなど)

■子どもがいる家庭の備え

ミルク、子ども用紙おむつ、使い捨て哺乳瓶、おしりふき、離乳食

■女性の備え

生理用品、サニタリーショーツ、防犯ブザー(ホイッスル)、おりものシート、中身の見えないごみ袋

■高齢者がいる家庭の備え

大人用紙パンツ、介護食、杖、入れ歯、洗剤、持病の薬、補聴器、老眼鏡、お薬手帳



首相官邸「災害時の備えチェックリスト」

NTT 災害用伝言ダイヤル(171)

電話を使用して情報を確認する「声の伝言板」です。

『171にダイヤル』→『録音は1再生は2』→『被災地の方の固定電話および携帯電話・IP電話の番号を入力してください。』

※固定電話は市外局番からの入力です。→『ガイダンスに従い録音(再生)』

防災・防犯情報メール配信

災害・防災・防犯情報のほか、防災行政無線で放送した内容を配信しています。



NTT 災害用伝言板(Web171)

インターネットを利用して情報を確認する「文字の伝言板」です。
『https://www.web171.jp/へアクセス、または[Web171]で検索』→『伝言を登録する被災地の方などの電話番号を入力』→『説明に従い登録/確認』



▼スマホチャレンジ教室(全4回)

初級編はスマートフォンとLINEの基本操作の習得、中級編は便利機能などの使い方の習得を目指します。

対象 市内在住、在勤、在学の人
講師 ITチャレンジの会 山内淳子氏 ほか
定員 各館12人(申込み順)
参加費 各館300円(全4回の講座)
持ち物 普段使用しているスマートフォン・筆記用具
申込み 8月8日(木)午前9時から希望する公民館の窓口または電話
※9月開講は8月26日(月)まで、10月開講は9月20日(金)まで。
問合せ 東公民館☎(48)0013・北公民館☎(42)6221
南公民館☎(43)6053・西公民館☎(43)0881
中央公民館☎(42)5156

東公民館 (中級)	9月3日～24日 毎週火曜日 午後1時30分～3時30分
北公民館 (中級)	9月6日～27日 毎週金曜日 午前10時～正午
南公民館 (初級)	9月11日～19日 毎週水、木曜日 午前10時～正午
西公民館 (中級)	10月2日～11日 毎週水、金曜日 午前9時30分～11時30分
中央公民館 (中級)	10月15日～25日 毎週火、金曜日 午前10時～正午

▼もっと知りたい! 幸手の幼稚園・保育園 ～幼稚園・保育園合同説明会～

日時	8月21日(水)午後2時30分～3時30分
場所	ウェルス幸手 1階 エントランスホール ソーシャルクラブ室
内容	市内幼稚園・保育園のブースを設置し、各園職員による個別説明を行います。園服や体操着の展示もあります。
対象	未就園児の保護者
予約	不要(※託児のみ事前予約制)
託児	予約制 ※申込み順。受け入れ人数に制限があります(1歳から)。9日(金)までにこども支援課にお電話ください。

※幸手市こどもチャンネルにて各園の紹介動画を公開しています。(10月31日まで)
問合せ こども支援課☎(42)8454



▲詳細はこちら

避難の判断

地震

地震発生後、家屋倒壊の恐れがある場合や近隣で大きな火災が発生している場合など、身の危険を感じた場合は、避難場所などの安全な場所に避難しましょう。

※避難所は被害の状況などに応じて市が開設します。

洪水

気象情報などご自身で情報を収集し、事前に備え、早めの避難を心がけましょう。河川はん濫が想定される場合は立ち退き避難が基本で、以下のような避難方法があります。

- ①親戚や知人の家に避難
- ②離れた地域のホテル・旅館に避難
- ③安全な場所に車で避難し一時的に車中泊
- ④早めに避難場所へ避難

※避難場所は利根川などの河川はん濫が想定される場合、影響が出る前に市が開設します。開設情報については幸手市ホームページや防災行政無線などでお知らせします。

マイ・タイムライン

事前に作成する避難行動計画です。身の回りのリスク、事前に準備するもの、避難のタイミング、避難先などを家族で話し合い、オリジナルのシートを作成しましょう。



ハザードマップ

市役所窓口または市ホームページで洪水・地震のハザードマップを確認できます。避難経路、避難場所の確認にご活用ください。

